

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実		課(室)名	住宅・まちづくり企画課
	施策	中心市街地の活性化		電話番号	087-839-2136
	基本事業	タイムリーな情報発信による回遊促進		事業実施主体	市
	事務事業	中心市街地活性化推進事業（まちづくり企画課分）		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市を取り巻く環境の変化に伴い、中心市街地の人口減少や商店街の空き店舗の増加など、にぎわい・活力の低下が見られたので、にぎわいを戻すために、国の交付金等を活用するべく、平成19年5月に第1期高松市中心市街地活性化基本計画の国の認定を受けた。第1期計画の計画期間が平成25年3月で終了したため、第2期計画を策定し、平成25年6月に国の認定を受けた。今後も、基本計画掲載事業の進捗を図り、継続して中心市街地の活性化に取り組む必要がある。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

30年度概要	第2期高松市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップ報告などに関する事務 第3期高松市中心市街地活性化基本計画策定業務 中心市街地活性化協議会に関する高松市負担金
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------

重点取組事業	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型
--------	----------	----	---------

【事業の目的】

対象(何を)	中心市街地活性化基本計画の対象となる地区
意図(どのような状態にしたいか)	中心市街地活性化基本計画掲載事業を推進し、「中心市街地の来街魅力の強化」「タイムリーな情報発信による回遊促進」「豊かな居住環境の充実」を図り、中心市街地のにぎわいを取り戻す。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
基本計画掲載事業のうち、完了又は実施中の事業	事業		40	40		

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
中央商店街の歩行者通行量	人	目標値		141,000	141,000	141,000	141,000
		実績値		130,566	118,567		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 平成29年度の歩行者通行量は、各商店街のイベント等の実施によるにぎわいの創出など活性化に向けた様々な事業が継続的に行われていたものの、天候の影響等もあり、前年度と比べ約12,000人減少し、目標値を下回る結果となった。	(目標達成度)						(達成度) 84.1%
							29点
中央商店街の空き店舗率	%	目標値		14.9	14.9	14.9	14.9
		実績値		17.3	17.8		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 各商店街でイベント等の実施によるにぎわいの創出や空き店舗活用事業による店舗の出店誘致など、活性化に向けた様々な事業が行われているものの、平成29年度の空き店舗率は、目標値を下回る結果となった。	(目標達成度)						(達成度) 80.5%
							28点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	10,343	8,095	9,391	17,280
(事業費)	[円]	363	244	287	5,899
(職員人件費)	[円]	9,980	7,851	9,104	11,381

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

第2期基本計画に掲げた3つの数値目標の達成には至っていないことから、今後はより一層、官民が連携し、第2期計画に掲げた施策の進捗状況を踏まえ、ハード・ソフトの幅広い施策・事業を盛り込む必要がある。
また、次期計画(第3期)は、事業の単純な延長・継続とみなせる計画は不可となっているため、新たなビジョン・戦略を踏まえる必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

中心市街地活性化のために必要な事業であり、更なる活性化に向けて引き続き実施するため、たかまつ創生戦略、高松市立地適正化計画等を踏まえた、中心市街地における新たな課題と次期計画(第3期)の必要性を明確にすることで、民間事業者等との情報共有や連携を図り、積極的な推進を行っていく。その中で、現状分析や課題の抽出を行い、次期計画の策定を進めていく。